

東京藝術大学

# 在学生「学習と学生生活」 アンケート 2007

結果概要

2007年10月

本学では、学生の皆さんへの『学習環境』整備や『社会に認められる・必要とされる大学づくり』のためにさまざまな取り組みをしています。

このアンケートは本年6月、学生の方々の学習や学生生活、そして施設や学生支援面の現状や認識を把握するために協力いただいたものです。

短い時間にも関わらず多数の回答をいただきありがとうございました。

調査結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

皆さんの周りや友人がどんな意識をもって学生生活を過ごしているか等の参考になる点多々あると思います。

大学としても皆さんの率直な意見を把握し、よりよい大学づくりの方針を検討する参考にしたいと考えています。

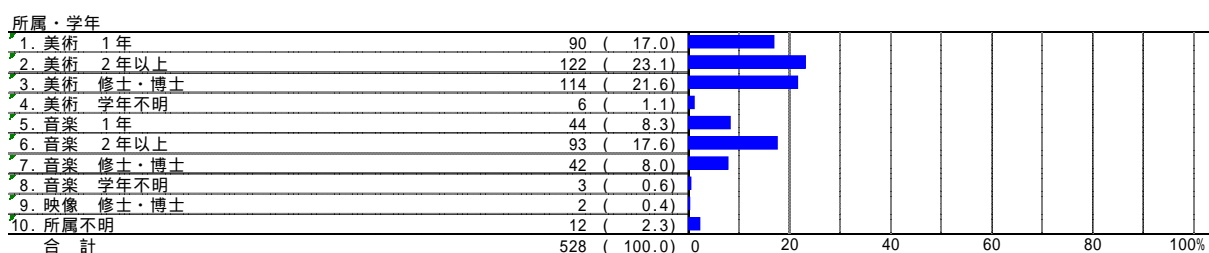
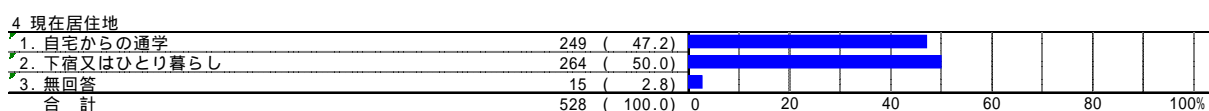
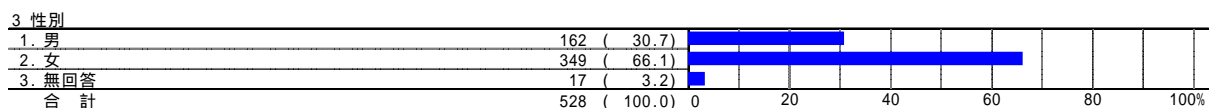
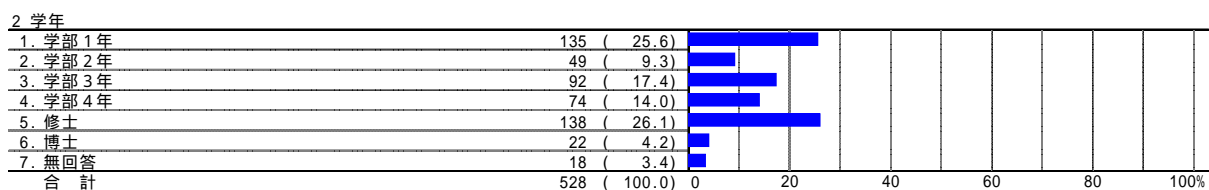
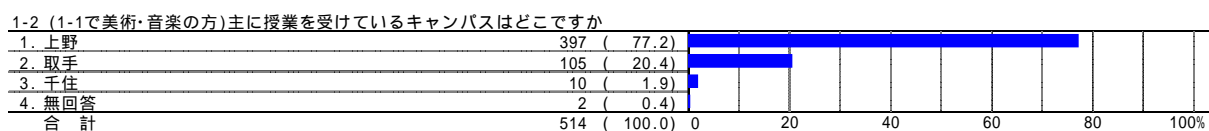
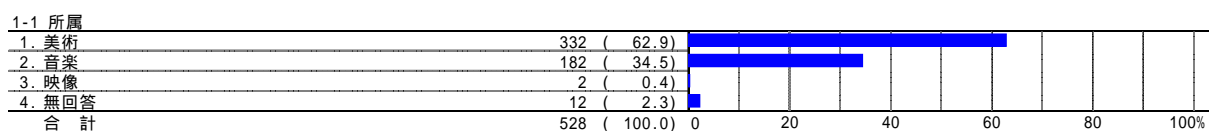
# 1. 調査の概要

実施時期：2007年6月11日～7月13日

対象：東京藝術大学 1年生～博士 3,207名

回答・回収状況：528票（回収率：16.5%）

## 回答者内訳



## 2. 調査結果の要約

カリキュラム、教育の仕組み、教育施設についての満足度について、「全体として満足いくものである」「満足いくものがやや多い」の肯定的意見は全体で 41.1% という数値になっています。

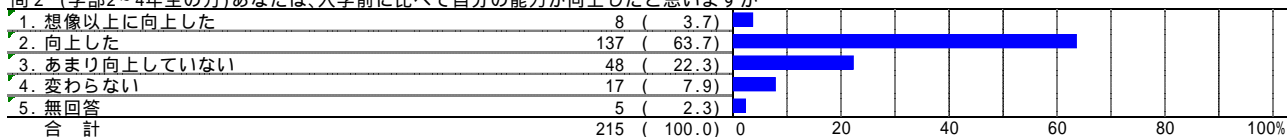
問1 あなたは、本学のカリキュラム、教育の仕組み、教育施設について、全般的に見て満足していますか



入学後の能力向上度について、「想像以上に向上した」「向上した」合わせて 67.4%。

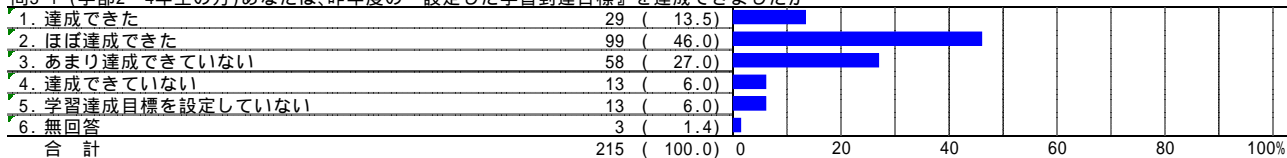
入学後の能力向上度について、「想像以上に向上した」「向上した」という回答の合計は 67.4% でした。学部別で見ると、音楽 70.9%、美術 64.7% となっています。

問2 (学部2~4年生の方)あなたは、入学前に比べて自分の能力が向上したと思いますか



新入生以外の在学生への質問です。約 6 割の学生が昨年度の『設定した学習到達目標』を達成できたと回答しています。

問3-1 (学部2~4年生の方)あなたは、昨年度の『設定した学習到達目標』を達成できましたか

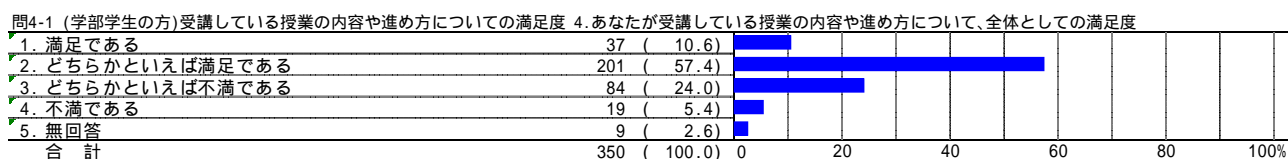


受講している授業の内容や進め方についての全体としての満足度は、68.0%。

受講している授業の内容や進め方についての全体としての満足度は、68.0%になります。

学部別では、音楽1年 81.8%、美術1年 75.6%に対し、音楽2～4年 65.6%、美術2～4年 59.9%となっており、下級生の方が相対的に満足度が高い状況です。

一般教養科目と専門教育科目では、専門教育科目の満足度が全体的に高い傾向が見られました。



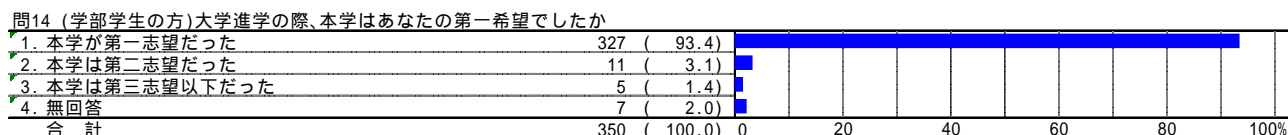
卒業後の進路について「進みたい方向を決定し、そのために必要な行動をとっている」学生割合は全体で 34.3%。

卒業後の進路について「進みたい方向を決定し、そのために必要な行動をとっている」学生割合は全体で 34.3%。「進みたい方向は決定しているが、そのための行動はしていない」を加えた進路決定の肯定割合は半数以上 (56.6%) という状況です。学部・学年比較では、音楽2～4年で肯定割合が 63.5% と最も高い数値となっています。



第一希望で入学した学生割合は全体で 93.4%。

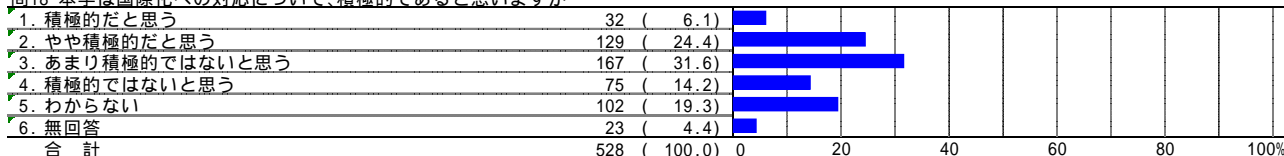
第一希望で入学した学生割合は全体で 93.4%。学部・学年別では、最も高いのが音楽1年で 100% という結果でした。



本学の国際化への対応についての印象は、「積極的だと思う」「やや積極的だと思う」合わせて全体で 30.5%。

本学の国際化への対応についての印象は、「積極的だと思う」「やや積極的だと思う」合わせて全体で 30.5%。学部・学年による印象の違いも見られました。

問18 本学は国際化への対応について、積極的であると思いますか

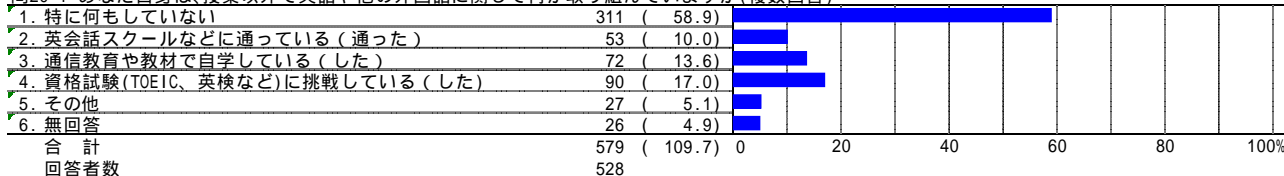


外国語の取り組みについて「特に何もしていない」学生が約 6 割 ( 58.9% )

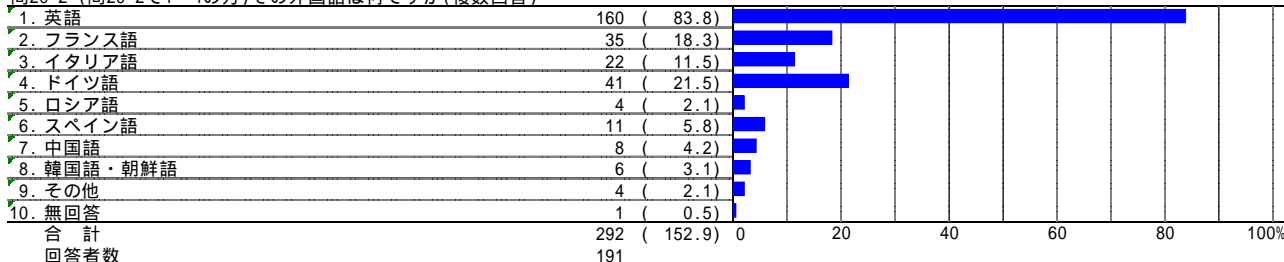
外国語の取り組みについて「特に何もしていない」学生が約 6 割 ( 58.9% )

何かしらの取り組みをしている学生の中で、学習している言語のトップは英語で 83.8% です。学部・学年別で比較すると、音楽 2～4 年ではドイツ語の割合が 36.1% と相対的に高い状況にあるといえます。

問20-1 あなた自身は、授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますか(複数回答)



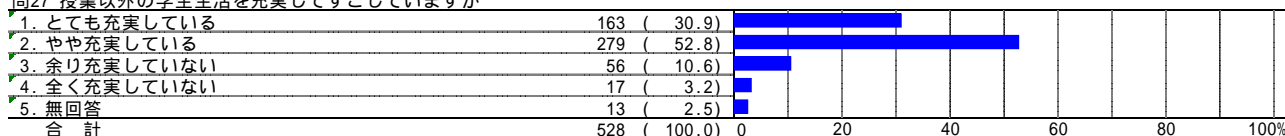
問20-2 (問20-2で1～4の方)その外国語は何ですか(複数回答)



授業以外の学生生活の充実度について、「とても充実している」「やや充実している」合わせて全体の 83.7%。

授業以外の学生生活の充実度について、「とても充実している」「やや充実している」合わせて全体の 83.7%。学部・学年別では音楽 2～4 年で 91.4%と最も高くなっています。また、美術 1 年では「余り充実していない」「全く充実していない」合わせて 25.5%となっており、音楽 1 年（13.7%）と 10%以上の差異が見られました。

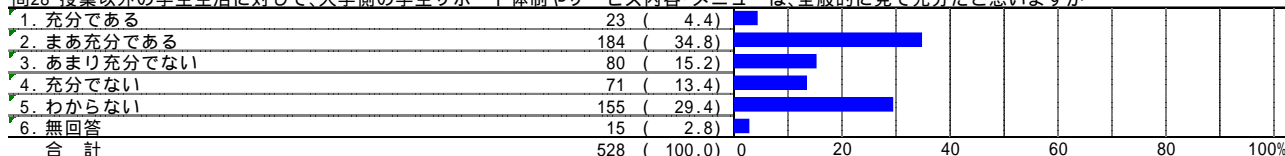
問27 授業以外の学生生活を充実してすごしていますか



授業以外の学生生活に対する、大学側の学生サポート体制等の充実度について、「充分である」「まあ充分である」合わせて 39.2%。

具体的な不満の理由としては、「職員の対応」「施設関連」「経済的負担」「生協等の売店」について相対的に多く挙げられていました。

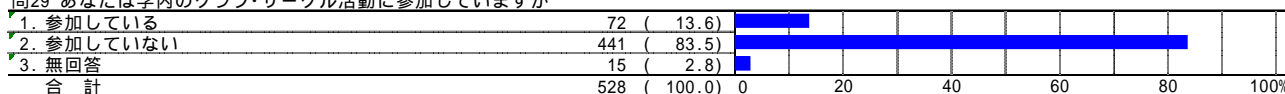
問28 授業以外の学生生活に対して、大学側の学生サポート体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか



校内のクラブ・サークル活動に参加しているのは全体の 13.6%。

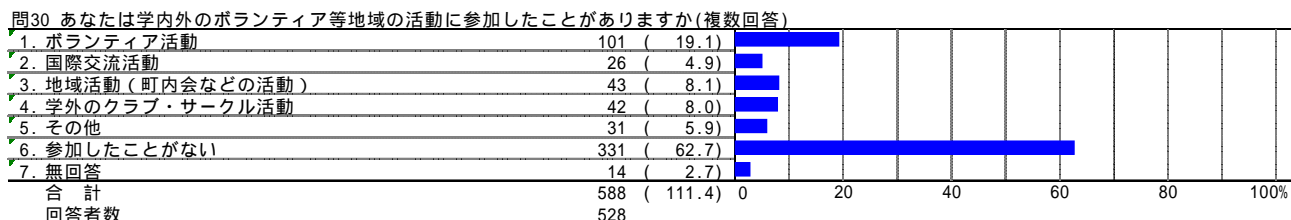
校内のクラブ・サークル活動に参加しているのは全体の 13.6%。他大学の一般的なデータと比較して、相対的に低い数値であるといえます。

問29 あなたは校内のクラブ・サークル活動に参加していますか

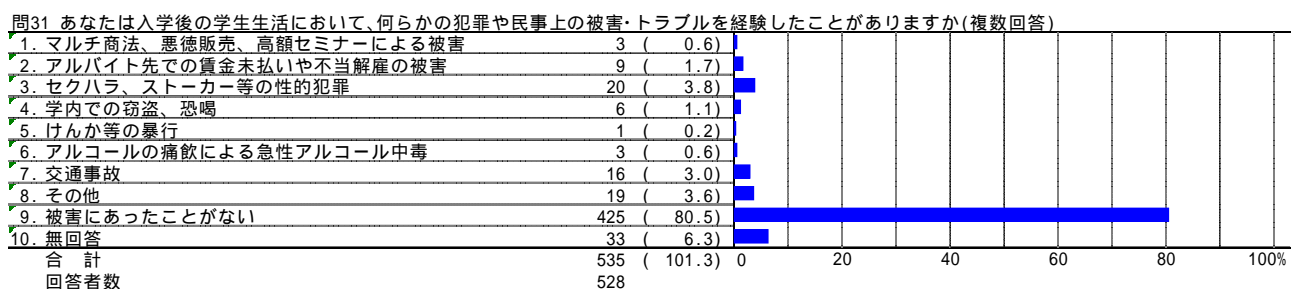


ボランティア等地域の活動への参加経験者は全体の4割以上。

ボランティア等地域の活動への参加経験者は全体の4割以上。参加の活動形態としてはボランティア活動への参加経験割合が多くなっています。

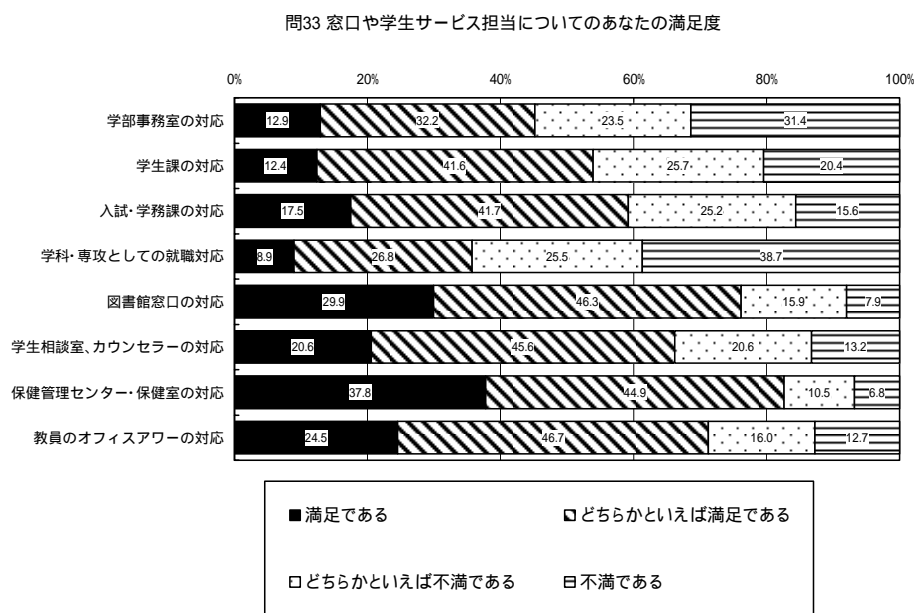


入学後の被害・トラブル経験状況は、「セクハラ、ストーカー等の性的犯罪」が3.8%(20件)、「交通事故」3.0%(16件)と比較的多くなっています。



窓口や学生サービス担当についての満足度について、最も高いのは「保健管理センター・保健室の対応」82.7%、相対的に低いのは「学科・専攻としての就職対応」35.7%。

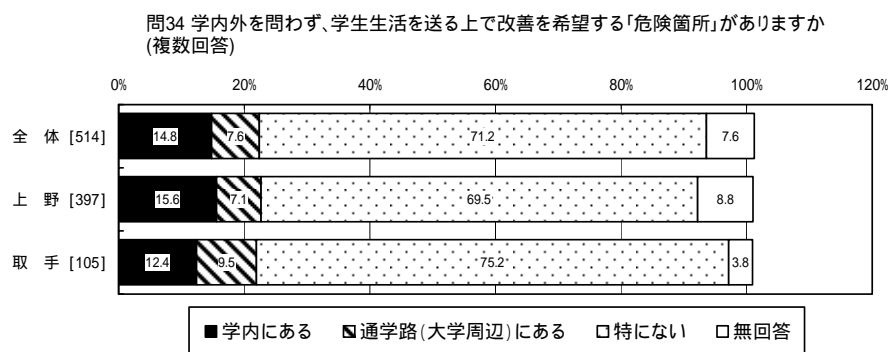
上野、取手両キャンパスで比較すると、「学部事務室の対応」についての満足度は、取手61.0%、上野35.6%と差異が見られました。



学生生活を送る上での「危険箇所」についての認識状況は、学内・学外を合わせて22.4%。  
(問34)

学生生活を送る上での「危険箇所」についての認識状況は、学内・学外を合わせて22.4%。  
キャンパス間でも大きな差異は見受けられませんでした。

具体的な危険箇所については、上野キャンパスでは上野公園近辺と絵画棟が、取手キャンパスでは通学路が、相対的に多く指摘されていました。皆さんの指摘を踏まえ、今後のキャンパス環境の改善を図っていきたくと考えています。





本学での教育・学習、学生生活など全体としての満足度は、「満足している」「どちらかといえば満足している」合わせて82.2%。



在学生が考える本学に対する保護者の満足度は全体で88.0%。

在学生が考える本学に対する保護者の満足度は全体で88.0%。「満足していると思う」「どちらかといえば満足していると思う」を合わせてみれば、学部・学年毎の大きな差異も見られませんでした。



---

東京藝術大学  
在学生「学習と学生生活」アンケート2007  
結果概要  
2007年10月

---